

第43回北信越国民体育大会 バレーボール競技(6人制)

少年男子は4戦全勝 少年女子も3勝1敗で栃木国体へ！

【県強化委員長 鏡味照明】

8月20日(土)、21日(日)、福井県において北信越国民体育大会が実施され、少年男子、少年女子の2種別が本国体出場権を獲得しました。

少年男子は、インターハイで3位に入賞した松本国際高校がその力を遺憾なく発揮し、4戦全勝で1位通過を果たしました。堅実なレシーブからセッター小金が配給する速いトスをキャプテンでエースの近藤、攻守の要の徳留、ミドルブロッカー田上を軸に、相手を翻弄する多彩な攻撃で得点を重ねていく展開は見事であり、チームの完成度の高さを感じました。

少年女子の東京都市大塩尻高校もインターハイでは8位入賞しており、その実績通りの活躍してくれました。1日目、難敵と思われた福井に2-0で勝利して順調に2勝を獲得しましたが、2日目は連戦の疲れからか全体的に動きが悪く、富山にフルセットの末に敗戦。しかし最終戦の新潟に勝利して長野・福井・富山の3県が3勝1敗と並びましたが、セット率で1位通過を果たしました。コンディショニングの問題で最終日には苦しみましたが、オポジット北村とレフト市川の両2年生に成長が見られ、チーム全体として戦力の底上げが進んでいると感じました。

成年男子は、本国体出場枠が2つあったので、長野ガロonzの突破を期待しましたが、直前でコロナ感染者が出るなど十分な準備が出来ず、結果的には4戦全敗となってしまいました。しかし、個々のポテンシャルは高いものがあり、今後の頑張りを期待したいと思います。成年女子のルートインホテルズも、前回リーグ戦後の監督の交代や、主力選手の退団・移籍などで厳しいチーム状態でした。セッター横田を中心に複雑なコンビネーション攻撃を試みるなど戦う姿勢は失っていませんでしたが、V1の石川(PFU)の壁は厚く、高さやパワーに圧倒されて敗れました。今後のリーグ戦に向けて、チーム再建を期待したいと思います。

栃木県で開催される本国体には、他にビーチバレー少年男子の長野工業高校ペア、少年女子の松商学園高校ペアが出場します。各チームの健闘を期待したいと思います。



第47回全国高等学校総合体育大会 男子バレーボール競技大会

松本国際高校は優勝した東山高校に敗れて惜しくも3位



今年度の高校総体(インターハイ)が四国で開催され、男子は8月3日(水)~7日(日)の4日間、香川県丸亀市で熱い戦いが繰り広げられました。本県男子代表の松本国際高校は、予選グループ戦から決勝トーナメントの準々決勝までの4試合を全てストレートで勝ち上がり、最終日に進出しました。準決勝では京都代表の東山高校と対戦。惜しくも敗れたものの、3位入賞を果たしました。

【大会を終えて】 松本国際高校 男子バレーボール部監督 壬生裕之

大会を終えて、私自身が一番感じることは、今大会を開催していただいたこと・参加させていただいたことに対しての感謝の気持ちです。このコロナ禍で大会開催に向けてご尽力された協会役員の方々、地元関係者の方々、また参加するにあたり県協会、学校関係者のご支援・ご協力があり、何より保護者のご理解とご協力の下、参加することができたことに対して大変深く感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。

大会結果に関しましては、準決勝で京都代表の東山高校に敗れ、3位という結果で大会を終えました。周りで応援いただいた多くの方々に「おめでとう」なのか「残念だったね」なのか、「どっちを言ったらいいか難しいね」と言われることが多くあり、私は、全国第3位で「残念だったね」を言っただけの集団であること、周りの方々に期待されていることなどを感じることができ、とても嬉しく、また今後のモチベーション向上にもなりました。

今年度の最初の全国大会を自分達の現在地の把握ととらえ、この3位まで来ることができた「成果」と、1位に届かなかった「課題」をきちんと整理し、全国制覇という目的地までの道筋を描いていければと考えています。

今後とも更なる精進を続けてまいりますので、松本国際高校男子バレーボール部を応援よろしくお願いします。関係者の皆様方、本当にありがとうございました。



↑写真提供/月刊バレーボール

第43回北信越中学校総合競技大会 バレーボール競技

小布施中が男子県勢としては11年振りに全国大会へ！ 逆に女子は31年振りに1校も全国へ行けず

【県強化委員 木下久資】

標記大会が8月2日（火）・3日（水）の両日、長野市ホワイトリングで行われました。コロナウィルス感染症第7波の真っ只中、「感染拡大予防ガイドライン」を策定した上で、開閉会式は無しのコート表彰、ボールはワン・プレー毎に交換・消毒等々、厳重な対策を施しての大会運営でした。

男子は、久々に伝統のコンビネーションバレーが復活した本県1位の小布施町立小布施中学校が、初日の1回戦・準々決勝を共に40分も掛けずに勝利。2日目の準決勝でも、石川県1位の白山市立光野中学校を圧倒。サーブでプレッシャーを掛けてペースを掴み、18点と14点に押さえて2011年に優勝して以来、11年振りに決勝戦に進出しました。

その決勝の相手は、福井県1位の越前市南越中学校。身長183cm・垂直跳75cmのスーパーエースを擁するチームでした。しかし、それ以上に抜群だったのはレシーブ力。小布施中はサーブで崩せず、逆にサーブでプレッシャーを掛けられる一方、スパイクをしつこく拾われる展開が続きました。第1セットは23-23から拾われたのを切り返されて失い、第2セットこそ相手の堅いレシーブ網を何とか崩して21点で奪ったものの、相手のレシーブ力・サーブ力、そしてエースの決定力がファイナルセットで効いて来ました。ポロポロッとミスが目立ち始めたところでジリジリと点差を広げられ、終盤も17-21から一気にマッチポイントを握られました。そこから意地で3連続得点したものの万事休す。準優勝に終わりました。

しかし、他の県勢男子3チームが何れも初戦敗退の中で孤軍奮闘し、10年連続全国大会出場チーム無しという屈辱的な記録にもピリオドを打つ、価値



ある準優勝でした。

一方の女子は、本県1位の長野市立広徳中学校と3位の安曇野市立穂高西中学校が1回戦を勝ったのみで、後は全て敗北。4校全部が初日で姿を消しました。女子は途中、長野市立裾花中学校が19連覇を達成する等、ここ30年は必ずどこかが全国大会に進出していた(2020年大会は中止)のですが、1991年以来、1校も全国大会に進めないことになってしまいました。

尚、全国大会は、8月19日(金)～8月22日(月)に秋田県秋田市・由利本荘市で開催される予定です。本県から唯一の出場となる小布施中学校の健闘をお祈り致します。

JOCジュニアオリンピックカップ第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

最終選考会(トライアウト)で県中学選抜選手男女12名を選出

【県強化委員 木下久資】

女子は8月6日(土)に安曇野市立三郷中学校で、男子は11日(祝)に安曇野市立豊科北中学校で今年度の長野県中学選抜チームの選手12名を選ぶ最終選考会(トライアウト)を行いました。只、新型コロナウイルス感染症警戒レベルが最高位に引き上げられた中でしたので、当初の予定を変更し、それぞれ半日での選考会となりました。

尚、トライアウト方式にしたのは昨年度から。一昨年度はコロナで本大会自体が中止で選考会をやっておりませんので、この方式はコロナ流行以後の対応ということになります。又、東北中中信での各地区トライアウトは7月下旬に実施しましたので、北信越大会(8月初旬)出場チームでトライアウトに参加を希望した選手については、地区トライアウトを免除。希望者全員が全て今回の最終選考会に参加出来ることにしました。という訳で、女子は27名、男子は38名という大人数の参加となりました。

先ず女子ですが、例年に比べ、将来性を重視した選考となりました。その結果、下記の通り、実に県下11校(過去最多タイ)から平均身長168.7cm(過去最高)の12名を選出しました。一方の男子も、北信越大会準優勝、全国大会出場の小布施町立小布施中学校の選手を中心とした選考とはなりましたが、女子と同様、リベロに特化した

選手は取って選出せず、セッターを除く10名の最高到達点の平均は3m10cmを超える選手を揃えました。

今年度の長野県中学男女選抜チームは、9月3日(土)の結団式を以て始動。県内有力高校や他県選抜チームと練習試合を重ねて、12月下旬の大阪市での本大会に臨みます。

長野県選抜チーム名簿

【スタッフ】

役 職	氏 名	所属校
団 長	牛田 佳伸	松本市立丸ノ内中学校
男子監督	高木 俊幸	茅野市立長峰中学校
男子コーチ	池田 真悟	長野市立松代中学校
男子マネージャー	坂本 翔	松本市立清水中学校
男子アシスタントコーチ	田貝 エミ	長野県立稲荷山養護学校
男子アシスタントコーチ	北澤 潤一	青木村立青木中学校
女子監督	上沼 隆光	南箕輪村立南箕輪中学校
女子コーチ	富田 勤	松川村立松川中学校
女子マネージャー	堀川 博美	塩尻市立丘中学校
女子アシスタントコーチ	池田 真衣	(一財)長野県バレーボール協会

→ 女子優秀選手の表彰



【男子選手】

No	氏 名	学 校	学 年	身 長
①	小田切 航輝	小布施町立小布施中学校	3	180
2	東倉 良	木曽町立日義中学校	3	188
3	久保田 瑛太	須坂市立相森中学校	3	186
4	五味 聖陽	箕輪町立箕輪中学校	3	181
5	大倉 元登	安曇野市立穂高西中学校	3	180
6	平林 卓磨	長野市立川中島中学校	3	180
7	田中 琥珀	長野市立更北中学校	3	180
8	勝山 敬太	小布施町立小布施中学校	3	180
9	中込 星流	茅野市立長峰中学校	3	177
10	丸山 倖生	長野市立東北中学校	3	176
11	小林 幹	小布施町立小布施中学校	3	165
12	小澤 青空	箕輪町立箕輪中学校	3	160

【女子選手】

No	氏 名	学 校	学 年	身 長
①	今井 絢菜	長野市立広徳中学校	3	161
2	馬淵 天怡	松川村立松川中学校	3	177
3	久保田 湊美	小布施町立小布施中学校	3	171
4	丸山 椎叶	安曇野市立穂高西中学校	3	171
5	久保田 凜香	松川町立松川中学校	3	171
6	鈴木 菜々香	長野市立三陽中学校	3	170
7	平出 純華	富士見町立富士見中学校	3	170
8	米山 彩華	飯島町立飯島中学校	3	170
9	黒田 瑠華	長野市立東部中学校	3	168
10	波多腰 絢乃	諏訪市立諏訪中学校	3	167
11	岩下 芽依	松川村立松川中学校	3	167
12	田口 心結	南木曽町立南木曽中学校	3	161



↑ 最終選考会 男子参加者全員の集合写真

男子は2位グループの2位 女子は3位グループの1位で終える



【SVC監督 竹村昭浩】

8月17日（水）～18日（木）、神奈川県藤沢市鵠沼海岸にて開催された標記大会に長野県代表として7月末のKOMAGANE CUPで優勝した男子：SVC（長野市中学3年生選抜）と女子：つばさクラブ（戸倉上山田中学校3年生）が出場しました。

1日目は予選で3チームのグループ戦、2日目は順位ごとのトーナメント戦でした。

男子の1戦目は、NAGASAKI（長崎県）との対戦でした。長崎県は例年、強いチームを派遣しており、過去には優勝経験もあります。予選グループ戦1位通過最大の山場でしたが、惜しくも23-25で落

としてしまいました。2戦目のNow Grad（福島県）との対戦は25-11で勝利しましたが、2日目は2位トーナメントに進むことになりました。

2日目は強風の中での試合となりました。1戦目は清風中学校（大阪府）に25-20で、2戦目はOWLS（岩手県）に25-15で勝ち、2位トーナメントの決勝に進出しました。相手は、地元の藤沢クラブB（神奈川県）でした。サンドコートや強風への対応に慣れているチームだけに1枚上手でした。18-25で敗れ、2位トーナメントの2位という最終の結果でした。

一方の女子は、予選グループ戦では2連敗で、2日目は3位トーナメントに回りました。強風の中、攻撃よりも、とにかくミス減らす作戦に出ました。初戦は地元の湘洋中A（神奈川県）を、準決勝では津市立久居中学校（三重県）を何れも13点で退け、決勝では加古川市立浜の宮中学（兵庫県）を21点に抑えて1位となり、意地を示すことが出来ました。

選手達は、慣れない環境の中にありながら、サンドコート、強風、特有のルールに適應し、コミュニケーションを密に取りながら頑張りました。貴重な経験をした選手達には、新たな目標に向けてより充実した日々を歩んでいてもらいたいと思います。

多くの皆さんに御支援と御協力を賜りましたことに感謝申し上げ、報告と致します。



（公財）日本スポーツ協会公認コーチ1養成講習会

中学生指導者を中心に33名が合格

【県指導普及委員 桑原康秀】

8月10日（水）、20日（土）、21日（日）の3日間、大町市において標記講習会を実施しました。

例年11月に開催していますが、今年度は主に中学校の先生方に資格をとっていただきたいという趣旨で夏休み期間中の開催となりました。

受講者は中学校の先生方を中心に38名の申し込みがありましたが、諸事情により受講をキャンセルされる方もおり、33名が合格して令和5年10月の認定となります。

10日の開校式に続き、県内で活躍をされております資格者の皆様に講師に、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。

今回の講習会には、Vリーグで活躍をされた長野市出身の峯村沙紀さんが受講生として参加されておりました。実技では、Vリーグで行っている動的ストレッチを受講生の皆さんと一緒に実際に行っていただきました。

講師の先生方、受講生の方々、スタッフの皆様には感染対策にご協力いただき感謝申し上げます。

今年度は 11 月にも講習会が開催されます。現在申し込みを受け付けておりますので、受講希望の方は県協会ホームページをご覧くださいお申し込み下さい。



第 41 回全日本9人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会

10 年連続出場表彰を受けて

【大町クラブ女子 監督 竹内 稔】

本年、8 月 12 日（金）～14 日（日）に大阪市で開催された第 41 回大会において、私どものクラブが 10 年連続出場の表彰を受けました。改めて県予選会を含めた 10 年間（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直近 2 年は全国大会中止で実質は 12 年間）を振りかえると様々な思い出がよみがえりますが、長い間よく続けて来られたというのが率直なところです。

女子のクラブチームでは、結婚や出産などのライフイベントによりプレーヤーを若くして卒業していきます。セッターは 10 年間で 5 人変わりました。9 人制のセッターは、5 人のアタッカーへのトス回しやネットプレーなどが必須。経験者がいない場合はゼロから育てなければならず、大事な試合で上手いかわず泣きながらトスを上げていた選手もありました。但し、3 人の選手は 10 年間続けて現役プレーヤーとしてチームの中心的な戦力であると同時に、若手の精神的なよりどころとして平均年齢を引き上げています（感謝と尊敬です）。メンバーが毎年入れ替わり、チーム力も変化する中で県予選を 10 年間突破できたことは、時々のメンバーが真剣に 9 人制バレーボールと向き合い、何より楽しんでプレーしてくれたお陰だと感謝しています。

20 数年前にチームの監督を引き受けましたが、6 人制しか経験のない私の指導では勝てるはずありません。当時は県予選への出場チーム数も多く、伝統のあるクラブチームや選手強化を図る病院系のチームが強く、県予選はなかなか突破できない状況にありました。しかし運よく県代表が 2 チームとなった折に岡山市で開催された全国大会に出場することができ、全国のレベルを監督、選手ともに肌で感じました。また、9 人制バレーボールの最高峰大会である全日本 9 人制総合選手権大会にも出場が叶い、トップレベルの実業団チームとの試合や練習方法などを直に感じたことが私や選手の意識を大きく変え、それらによってチーム力が向上したことが 10 年連続出場につながったと感じています。

近年の全国大会では体育系大学や実業団が多く出場するようになり、純粋なクラブチームではなかなか上位に進むのは難しい訳ですが、チーム過去最高位のベスト 8 にもう一度進めるよう、ベテランから高校生までと年齢も職業も幅広いチームではありますが、プレーヤー個々がバレーボール競技と向き合う真のクラブチームとして、今後も頑張ってもらいます（監督の世代交代も視野に入れて）。



最後に、9 人制バレーについて多くの指導をいただいた県協会専務理事の村上さんを始め、若き日のチームメイトであり長野県クラブ連盟の設立から運営をともに担ってきた坂田競技委員長、大変お世話になった故北村クラブ連会長、そして対戦をいただいた県内チームや多くの関係者の皆さんに感謝を申し上げるとともに、長野県のバレーボール競技が更に発展することを切に願って、全日本 9 人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会 10 年連続出場表彰の報告とさせていただきます。

ガロンズジュニア女子が全国18チームの頂点に立つ！

8月27日（土）～28日（日）、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構が主催する標記大会が岐阜県岐阜市の岐阜メモリアルセンター（男子は”で愛ドーム”：第1体育館、女子は”ふれ愛ドーム”：第2体育館）で開催され、Vリーグ1～3の各カテゴリーに属するチームの男女ジュニアチーム（中学生年代）が集結。過去最多の男子17チーム、女子18チームが覇を競いました。

本県からは女子3チーム（ガロンズジュニア・VC長野トライデンツジュニア・ブリリアントAジュニア）、男子2チーム（ガロンズジュニア・VC長野トライデンツジュニア）が出場しました。

ガロンズジュニア女子はまず、3チームずつの6グループに分かれた25点1セットマッチのリーグ戦を危なくなくD組1位で突破。各グループ1位の6チームを2つに分けたリーグ戦でもE組1位のWOLFDogs名古屋女子とF組1位のLEONバレーボールクラブをほぼ一方的に下して優勝決定戦に進出しました。その相手は、A組1位から同じく全勝で勝ち上がって来たヴィクトリーナ姫路ジュニア。第1セットは、1本では決まらず長いラリーが続く展開でしたが、ブロックで粘って両エースがミスなくポイントし、11点に抑えて奪取しました。2セット目は中盤過ぎまで最大5点のリードを許すという苦しい状況でしたが、最後まで我慢し、2本のサービスエース等で逆転。25-21でこのセットも奪って、初出場で一気に頂点に駆け上がりました。

【大会を振り返って】 ガロンズジュニア女子監督 篠崎 寛

女子チームとしては初参加となるVリーグジュニア大会でした。今回、北信地区を中心とした中学の先生方、各協会の関係者に御協力を頂き、13地区大会の練習と合わせて準備をして参りました。

大会は、予選グループ戦とその後の同順位グループ戦が25点1セットマッチで、最終順位決定戦のみが25点3セットマッチという、非常に集中力を必要とする試合方式で行われました。

チームとしては、鈴木-今井の両エースの安定し、且つ爆発的なアタック、ミドルの久保田-小山と大会直前にOPにコンバートした黒田のブロック力、リベロ横田のファーストタッチの正確性、セッター永野のブレることのない安定したトス回し、そして控えに回りながらも肝心な所でリリーフサーバーとしてポイントを重ねた大日方と、一人一人が役割を理解し、それを徹底出来たことが大きかったと思います。戦い方を説明するとそれを素直に実行できてしまう部分は、中学生指導者の育成の素晴らしさを感じました。加えて、チームを背負って戦ってきた3年生の自覚が今回の結果に繋がったのだと思います。

諦めることなく一生懸命プレーしている姿には、相手チームの観客や大会役員からも拍手が自然と出ることもありました。V機構主催者からも「大人の心に元気と勇気を与えてくれた」と、感謝の言葉を頂きました。

選手達は、既に中学生生活で学校別の試合は引退している状況ですが、彼女達の今後の活躍を心より応援しております。

最後に応援して頂いた協会関係の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。有り難う御座いました。

1	久保田 湊美	小布施中	3年	MB
2	小山 菜緒	裾花中	3年	MB
3	今井 絢菜	広徳中	3年	OH
4	横田 友愛	墨坂中	3年	L

⑤	鈴木 菜々香	三陽中	3年	OH
6	黒田 瑠華	長野東部中	3年	OP
7	永野 帆乃花	飯綱中	3年	S
8	大日方 楓花	東北中	3年	S



8 月 試 合 結 果

- ☆ 第 52 回全日本中学校選手権大会 北信越大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.3_tyugaku_hokusinetu.pdf

- ☆ 全国高等学校総合体育大会 男子バレーボール競技大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.7_koko_sotai_zenkoku.pdf

- ☆ 第 41 回全日本 6 人制クラブカップ男子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.7_6club_zenkoku.pdf

- ☆ 第 21 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.11_beach_junior_zenkoku.pdf

- ☆ 第 42 回全日本バレーボール小学生大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.12_syogakusei_zenkoku.pdf

- ☆ 第 41 回全日本 9 人制クラブカップ男子女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.14_9club_zenkoku.pdf

- ☆ ‘22 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.14_madonna_cup.pdf

- ☆ 第 36 回ビーチバレージャパン
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.14_beach_japan_zenkoku.pdf

- ☆ 第 13 回湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.18_syonanfujisawa_cup.pdf

- ☆ 第 43 回北信越国民体育大会バレーボール競技 (インドア)
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.21_hokusinetu_kokutai_syonen.pdf
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.21_hokusinetu_kokutai_seinen.pdf

- ☆ 第 33 回全日本ビーチバレー女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.21_beach_jyosi_zenkoku.pdf

- ☆ 第 52 回全日本中学校選手権大会 バレーボール競技
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.22_zenchu.pdf

- ☆ 長野県ソフトバレーボール秋季大会 北信越総合予選会(中止)

9 月 スケジュール

9/2(金)	県スポーツ協会 令和4年度第2回総務専門委員会	(長野市)
9/3(土)	JOC 第36回全国都道府県対抗中学大会 長野県選抜選手結団式	(塩尻市)
9/3(土)～4(日)	第13回全国6人制 北信越地域リーグ大会 (中止)	(新潟県)
9/4(日)	ファイテン杯第21回北信越クラブ優勝大会 県予選会	(大町市)
9/10(土)～13(火)	第77回国民体育大会 (ビーチ少年)	(栃木県)
9/11(日)	第22回長野県障がい者スポーツ大会 (中止)	(山形村)
9/23(金)～25(日)	第11回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル in 長野	(長野市)
9/23(金)～26(月)	第22回スポーツマスターズ2022	(岡山県)
9/24(土)～25(日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 北信越ブロックラウンド	(新潟県)
9/24(土)	JVA・北信越連盟 意見交換会 (JVA将来構想について)	(新潟県)
9/24(土)～25(日)	第25回全国ヤングクラブ優勝大会	(大阪府)
9/25(日)	全日本9人制総合男子女子選手権大会 県予選会	(松本市)
9/25(日)	第12回全国ママさんバレーボール冬季大会 県予選会	(安曇野市)